

市内の出来事

～ つくばみらいのわだい ～

うぐいす色のとうふづくり



昨年の12月から全12回にわたり、いきいき高齢者農村資源利用促進事業の一環で「とうふづくり講習会」が実施されました。「地域で生産された農産物を地域で消費すること」が地産地消を推進し、地域経済の活性化につながればと、約10人の意欲のある方々が参加しました。

福岡地区旧中島とうふ店の加工施設をお借りして、約40年のとうふづくりの経験をもつ、中島つね子さんにご指導いただき、地元で収穫された「青大豆」を使ったうぐいすとうふづくりに取り組みました。試行錯誤を繰り返して、60丁ほどの淡いエメラルドグリーンの宝石のようなうぐいすとうふを作ることができました。作りたてのとうふのおいしさに、みなさん笑顔がこぼれ、引き続き講習会を続けさせてもらいたいと好評でした。

地元の農産物を給食へ

1月24日から30日の「全国学校給食週間」にあわせて、伊奈給食センター・谷和原給食センターでは、施設見学と給食の試食会が行われました。

試食会は、応募された一般の市民の方と、給食センターに農産物を納入している生産者の方を対象に行われました。参加した方からは、「おいしい」と笑顔がこぼれていました。

子どもたちが毎日食べている給食には、地元の農家の方が作った農産物が多く使用されています。子どもたちには、地元産の農産物を食べることで、郷土や食に対する理解を深めてほしいものです。



よつわ大学が閉講



平成18年度の「よつわ大学閉講式」が谷和原公民館で2月4日、伊奈公民館で2月21日に行われました。

「よつわ大学」の「よつわ」とは、「希望」「親睦」「協力」「健康」の4つの輪を表します。「広くやさしい心で、社会のために役立つ高齢者」を目標に掲げ、講話や移動学習、映画鑑賞などを実施してきました。

来年度もよつわ大学を開催する予定です。ご希望の方はぜひご参加ください。募集など詳しいことについては、4月の広報紙でお知らせする予定です。